

よ さ の

水・緑・空

笑顔がやぐ ぬれあいのまち



第30号

2013年

11月 8日発行

Yosano Town Council

# 議会だより

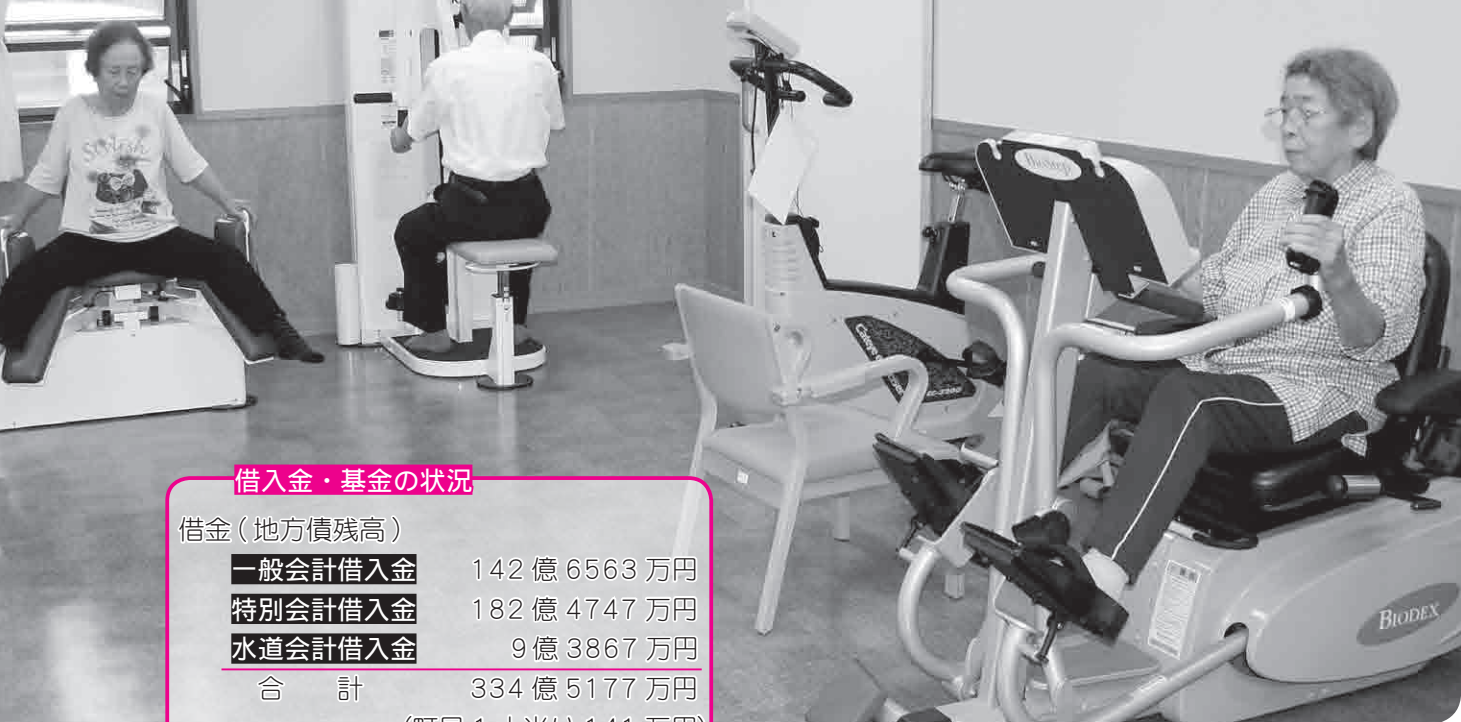


クローズアップ	4 P
24年度決算審議	5 P
2号補正の修正動議可決	11 P
特別職と議員の給与減額	13 P
一般質問 13人	17 P

かごいっぱい 夢いっぱい  
加悦保育園運動会



# 石川診療所にリハビリ棟を新設



### 借入金・基金の状況

借入金（地方債残高）	
一般会計借入金	142億6563万円
特別会計借入金	182億4747万円
水道会計借入金	9億3867万円
合計	334億5177万円
	（町民1人当たり141万円）

預金（基金残高）	
積立金	49億5303万円
	（町民1人当たり21万円）
運用基金	4億1611万円

### 平成24年度一般会計決算

歳入総額	115億8194万円	（前年度比 2.0%減）
歳出総額	113億4628万円	（前年度比 1.9%減）
差し引き	2億3566万円の黒字	

### 特別会計決算額

会計名	収入	支出	
簡易水道	1,348,281	1,340,137	
宅地造成	16,190	20,544	
下水道	1,577,108	1,576,940	
農業集落排水	39,259	39,001	
介護保険	事業勘定	2,400,796	2,399,991
	サービス勘定	14,705	13,466
土地取得	353	17	
国民健康保険	国民健康保険事業	2,900,277	2,883,468
	診療所事業	140,099	139,553
後期高齢者医療	243,779	239,924	
財産区	85,187	18,913	
合計	8,766,034	8,671,954	

### 水道会計決算額

会計名	収入	支出	
水道事業	収益的収支	152,608	178,704
	資本的収支	650	108,090

# 全員賛成で認定 ビリ棟を新設

安心と生きがいのある  
福祉のまちづくりにむけて

### 監査報告（要旨）

平成24年度は、合併から6年目、「第一次総合計画」前期基本計画及び「行政改革大綱」の仕上げの年となった。

総合計画基本計画の4つの基本理念に向けたそれぞれの基本目標ごとの事業は、おおむね計画的・効率的に執行されており、又これに到達しようとする努力の跡も伺えた。

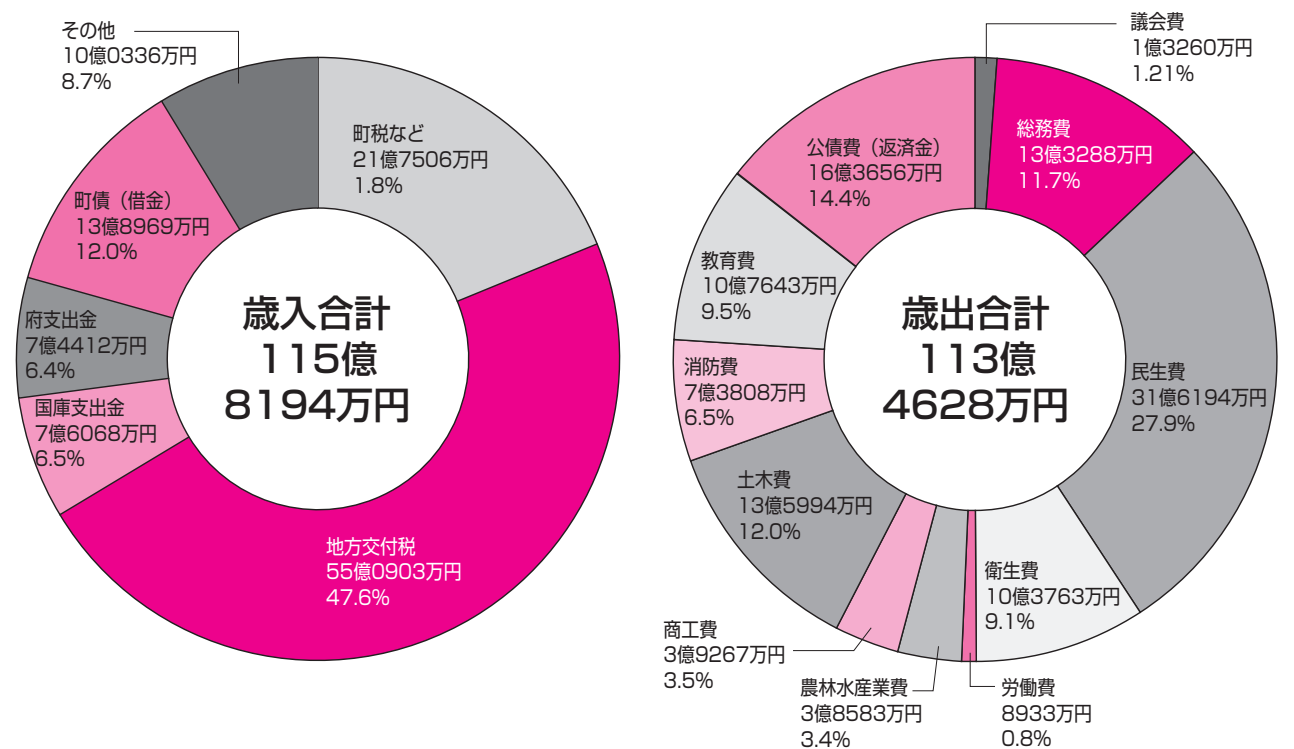
一方、一年前に発覚した職員の収賄事件は、町民の行政に対する信頼を裏切る卑屈なもので、誠に残念と言わざるを得ない。全庁機能挙げて、徹底した再発防止策を講じられたい。

下水道特別会計では、下水道受益者分担金・負担金の不納欠損処分が多額にのぼった。滞納とならないよう早い時期での徴収努力を払うことはもとより、時効を中断させる手続きを踏むなど、徹底した対策を講じられたい。併せて、町民が抱えている不公平感・疑惑に対する十分かつ丁寧な説明付けを求めたい。

9月定例会は9月2日から9月27日までの26日間の会期で行われた。今議会の特徴的なことは公共下水道の受益者分担金・負担金2668万円もの多額の不納欠損処分が生じたことに対する責任のあり方について、理事者と厳しく対峙する議会であった。関連して平成24年度下水道特別会計決算は、賛成少数で不認定という与謝野町始まって以来の結果となり、また修正予算の一部修正も行われた。議長の閉会あいさつで「様々な議案のなか、これほど賛否が分かれた議会はなかった。それぞれの見識のなかでの尊い意見の集まりの議会であった」と総括され、町長の「信頼回復に向けて全力で取り組む」との言葉で締めくくった。

一般質問も含め延べ119人の議員が熱い質問を行った。

### 一般会計決算グラフ





# 9月議会の クローズアップ

## 主な内容と補正予算の特徴

下水道不納欠損問題の責任をとり  
**町長・副町長の給与減額**

町長 さらに6カ月間10%カット  
副町長 さらに6カ月間5%カット  
(町長・副町長共計9カ月間)  
※関連記事13ページ

**議員報酬の減額**

3カ月10%カット  
議会も責任の一端を果たすべく今年10月から12月までの3カ月報酬の減額をする。財源確保の目的から1年間5%カットを実施中で、3カ月は15%のカットとなる。

**平成24年度 下水道特別会計  
決算を不認定**

※関連記事10ページ

**補正予算の修正動議可決**

加悦最終処分場の土地購入費600万円を削除した修正動議が可決された。  
※関連記事11ページ

**診察機器購入費**

934万円  
国保石川診療所の超音波（エコー）診断装置の更新など検査向上にむけて。

**消防ポンプ自動車の購入**

1832万円  
岩滝第一分団の消防車が17年経過し、更新するもの。町民の生命財産を守るため期待される。



**簡易水道明石中継ポンプ場の  
新設工事費**

1億90万円  
明石・香河地区への配水目的で、香河峠頂上付近に設置するもの。

## 平成24年度 一般会計 決算質疑

一般会計決算は「第一次総合計画」の前期基本計画の総仕上げの年度だったことから、延べ46人の議員から活発な質疑がおこなわれた。

### 岩滝地域の高潮対策

野村生八

**問** 対策をした地域もあるが、まだ被害がでている地域は深刻だ。回数も増えている。地域防災計

**答** ではどうなっているか。  
**総務課長** 防潮堤の整備。潮位観測体制の確立となっている。

**問** それなら、解決のために何が必要か検討をして、住民に知らせることを直ちに取組んでいくべきだ。  
**建設課長** 国の制度なども精査し取り組んでいく。

**問** 住民アンケートにもある「新たな産業起こしと雇用の確保」が遅れている。もっと力を入れるべきだ。  
**町長** 中小企業振興基本条例の推進に期待する。今ある産業の活性化を目指している。

**問** これからの公民館活動には、少子高齢化や耕作放棄地など地域の足元を見た取り組みが必要だ。  
**教育長** そのような活動は歓迎する。  
**問** 災害などにおいて互助の推進がさらに必要になる。  
**教育長** 地域の発想で推進してほしい。

### 天神山エレベーターは 浪江郁雄

**問** 町営住宅は333戸を管理している。今後は315戸程度を考慮していると前に答弁があった。需要は多いと思うが。  
**建設課長** 旧町からの引き継ぎ事項だ。長寿命化計画に入れたい。そのなかで優先順位や財政計画を見ながら、やる方向で考えていきたい。



天神山団地（岩滝）

### 自立支援は町ぐるみで

家城 功

**問** 障害を抱えた人が一生懸命に頑張った作っていただいた商品は、売れてこそ意味があり励みにもなる。町ぐるみで理解の得られる取り組みを。  
**福祉課長** 販路開拓も含め自立につながるよう今後も取り組みを進める。

**問** 企業誘致は地域の重要課題である。地元での雇用は地域活性化や少子高齢化対策にもつながる。意識を持った取り組みを。  
**町長** 現存の企業育成が先決であると考えている。

**空き地空き家も対策を**  
**問** 不法投棄が空き地や空き家でも多くみられる。管理条例も含め対応を進めるべき。  
**住民環境課長** 巡回も強化している。今後考える。



高潮対策が望まれる浸水地域



# 最終処分場に告知放送

多田正成

**問** 処分場に告知放送がない。住民も行かれ危険を知らせる義務がある。  
**加悦地域振興課長** 里から離れ設置費がかかるが、財政課と相談する。

## 介護職の給与の格差

**問** 指定管理福祉施設の決算をみると人件費の格差があるようだ。ヘルパー職など大変な仕事。町として格差のない指導が必要では。  
**福祉課長** 話はずるが経営は町ではないので、深く入れない。

## 合併特例債と赤字財政

**問** 26年から赤字財政の予



岩滝最終処分場

測。調整基金も29年度で0円と示され、33年度から交付税が約12億円削減となる。財政予測はどうなる。  
**企画財政課長** ほぼ間違いないが、そうならない努力をする。

**問** 新施設に合併特例債発行予定が約67億円、それで特例債も一杯で資

金がない。旧態のまま施設整備統廃合は。  
**町長** 当然取り組まな

# 再測量の費用負担は

勢旗 毅

**問** 以前に町が測量したところで、誤差があり困っているケースがある。正確な測量の費用は、町が持つ必要がある。  
**建設課長** あきらかに町に責任のある場合は、町が持つ必要がある。

## 新しい観光の玄関を

**問** 北近畿丹後鉄道の経営改善には、沿線市町の協力が不可欠だ。貴重な鉄道遺産がある野田川駅に「観光協会」の事務所を移転してはこの声がある。特に

ればならないが、まだそこまで考えていない。

特急が停車するためには人員が必要だ。  
**企画財政課長** 今後の課題としたい。

## 無農薬栽培の成果は

**問** 水稻の無農薬栽培は、京都の大手との提携と聞く。総事業費392万円、大手が20万円の負担とは理解しにくい。  
**農林課長** 24年度は、国の緊急雇用対策にのせたことで事業費が膨らんでいる。

**問** 大手と提携した無農薬栽培3年間の評価は。  
**農林課長** 収量の面でも雑草対策でも、実用化にはかなりな時間が必要だ。

# 新広域ごみ処理計画

井田義之

**問** 平成24年は長年の懸案であった宮津与謝広域ごみ処理施設整備推進協議会がスタートした。総事業費はいくらか。  
**総務課長** 概算で約60億円。(内補助金 約17億円)

**問** 各市町の負担割合は。  
**住民環境課長** 宮津市 43・5%

伊根町 5・3%  
与謝野町 51・2%  
**問** 協議等の進捗状況は。  
**副町長** 候補予定地の地元・地主説明会をすませ、四季の環境調査中であり可燃ごみの処理方式なども研究・協議中である。



岩滝最終処分場の焼却炉

# 地域経済に活力を

山添藤真

**問** 自治体の財源は2つに大別される。使途制限が設けられる特定財源と制限がない一般財源である。使途制限が設けられていない一般財源がどのよう配分されているかを分析することで、自治体のまちづくりに対する姿勢を見ることができると考えている。  
**企画財政課長** 必ずしも

そうとはいえない。  
**問** 当町の平成24年度決算における一般財源充当率(公債費を除いた総額は、福祉関連費(民生費・衛生費)が約40%、農林水産業費と商工費が約6%。この数字から、「福祉」に重点を置くまちづくりの運営であるといえる。この予算配分をより「産業重視」にしていくことで、地域経済に活力を生み出していくことは可能であると考えている。  
**町長** 予算配分を変えただからといって、地域経済が活性化するとはいえない。

# 借地に施設や建物

塩見 晋

**問** 町には多くの施設や建物があるが、土地が借地になっている物件はどのくらいあるのか。  
**総務課長** ほとんどは公有地であるが、把握していないので調査をする。

**問** 公共施設の土地の賃借は解消し、公有地とするべきである。  
**町長** 施設設置時の事情もあると思うので慎重に調べてみる。

## 財産調書に「金塊」

**問** 財産調書に金地金500gが新規に記載されている。その経緯は。  
**会計室長** 昭和62年旧野田川町に寄付を受けた財産であるので物品として決算書に初めてあげた。  
**問** 20数年保管していたのは、寄付を受けた時の要件があったのか。また、今後の活用方法は。

# 岩滝児童館の耐震は

宮崎有平

**問** 児童館は、年間7950人の利用者があり、建物も古く危険である。耐震度と今後のあり方は。  
**福祉課長** 古い木造の建物だが、耐震検査は実施していない。修理・建て替えなども計画にはない。今後のあり方は、子ども・子育て会議のなかで、議論して頂く。

## 防災訓練と自衛隊は

**問** 地震の訓練を3、4年しているが、その効果は。自衛隊の参加は町民の防災意識の高揚につながると思うが、今後も参加を願っているのか。  
**総務課長** 災害の想定は地震だが、大雨などの避難訓練にもなり、避難所の運営などにも役立つている。  
自衛隊を含めた防災関係機関の訓練でもあり、今後も支援をお願いする。



岩滝児童館

## 知恵の輪 いくつ建つ

**問** 阿蘇シーサイドパークは完成したのか。知恵の輪の設置場所は。  
**建設課長** 標識などの細かいものを除いて、24年度で完成した。知恵の輪は重量があり、安全面で公園内の設置が難しい。



阪急梅田で開催された展示会





ふるさと納税をわが町に

## ふるさと納税の推進を

杉上忠義

**問** 地方と都会の格差是正のための導入から5年。府北部の市町村では、特産品贈呈等の特典を創設し、収入増と観光振興に成功した町もある。本町は特典もなく、額、人数ともに北部最低となつて

いるが。  
**町長** 金額は少ないが、毎年納税していただくと人もある。

**問** 海の京都で観光振興を額になつてきた。「海の

京都 与謝野町実践者会議」が立ちあげられた。府と連携強化、公共交通と協調も重要だが。

## 合併特例債の発行予定

谷口忠弘

**問** 今後の大型事業で全額（128億円）発行の予定だが、財政運営は大丈夫か。

**企画財政課長** マスタープランづくりなど府と協

**問** 今後の10年間で調整を図っていく。今後10年間の財政シミュレーションは、各年度での歳出カット細目を明確に示すべき。

**町長** そうしたい。  
**指定管理事業の今後は**

**問** 数社がここ4～5年赤字経営が続いているが、

**町長** 厳しい環境だ。  
**問** 指定管理料は、赤字補填ではないと過去答弁されたが。

議論しながら進める。バス・鉄道時刻表に、2000円バスと鉄道で行く「海の京都」めぐりを紹介した。

## 農業政策と農地保全

有吉 正

**問** 豆つ子肥料製造機械の寿命は、おからを使い製造コスト削減を可能とする堆肥製造はどうなっているか。

**農林課長** 平成13年設置、機械保守をしながら使っている。新設備は研究中。

**問** 大豆の栽培面積20ha、生産者33人。水稲の無農薬栽培研究もされて

いるが、転作率を考慮すると、与謝野町の農地をどうやって守っていくのか。

**農林課長** 転作率約34%。大豆のような土地利用が難しい。水稲の無農薬栽培の面積はわずかである。



今年も豊作・実りの秋

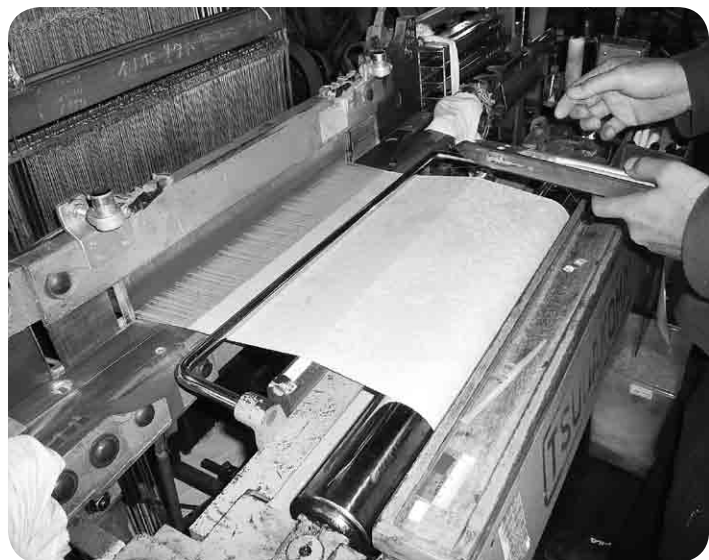
## 織物業へのテコ入れを

小林庸夫

**問** 300年余続いてきた地場産業。地域に貢献してきた仕事だが消費減のなか、残っている機業は京丹後市と与謝野町しかない。

3年間の時限立法でダイレクトコントローラの補助が打ち切られることだが、地域の活性化につなげるためにも継続に力を入れるべきだ。農業分野は国の方針や

府の施策などで手厚い補助が毎年継続されている。反対に地場産業育成には国・府の施策が少ないなか、行政がテコ入れしていくことが非常に大事だ。  
**町長** 衰退したとはいえ日本全国、世界のなかでも優れた織物を織っているところは丹後・与謝野町だ。培われてきた日本の文化そのものを途絶えさせない、守っていく意味からも与謝野町の誇りとする産業だ。3年間やってきたことを調査検討し、より効果的なことを考え、ほかではやっていないことを与謝野町はやっていきたい。



織物業の再興

## 納税者の最低の権利を

伊藤幸男

**問** 町がやるべき税徴収業務を府の税機構に移管したが、対応の酷さから納税者とのトラブルが各地で起きている。滞納者の財産調査や差押は本人同意と事前予告が必要だ。

知事は、納税者の権利を保障した国税庁通知を無視した言動をしていたが、**税務課長** 本人への事前予告は必要ないと考えている。

一般会計決算

## 賛成討論

住民協働の福祉向上を

全国に誇れる与謝野町

塩見 晋

伊藤幸男

第一次与謝野町総合計画の前期基本計画と与謝野町行政改革大綱の最終年度となり、その仕上げの重要な年度であった。

総合計画後期基本計画の策定や防災計画の見直し、阿蘇シーサイドパーク整備事業の完了など多くの事業が進められた。

今後、加悦中学校改築、認定子ども園や広域ごみ処理施設建設などの多額の財政需要が必要となる。長期的な展望による効果的な財政運営と財源の安定的確保に取り組み、住民と協働し活力あるまちづくりが推進されることを強く期待する。

昨年度は、基金を増やし借金も減らしながら黒字運営であった。やすらの里、中小企業条例などの暮らしと営業を守る数々の全国に誇れる事業を行った。水道・国保会計には負担軽減のため繰入もした。また後期総合計画など諸計画が作られた年であった。今後は、ごみ広域化や加悦中・保育園再編など進めながら、合併による交付税削減の財政危機対応が課題になる。国・府の悪政が暴走する下、住民と職員に依拠した行政運営で与謝野町らしさを前進させることを期待する。



ダイレクトコントローラー

同意と事前予告が必要だ。



# 修正動議可決

**問** 大事な議案だ。なぜ事前に他議員に相談せず突然動議を出したのか。当時あなたは担当課長で実情も解っていたはず。  
**提出者** 着任時、すでに施設は完成し、経過は知らなかった。



加悦最終処分場

## 課長で解っていたはず

伊藤幸男

- 修正動議 提出者 勢 旗 毅**  
**提案理由**
- ①購入価格が高すぎる
  - ②線下補償分も含まれている
  - ③所得税分も上乗せしている

補正予算第2号の、加悦最終処分場の借地購入費600万円を削除した修正動議が提出され、賛成多数で可決した。  
引き続き3号、4号が提案され台風18号被害による災害対策費、また甚大な被害の福知山市への見舞金などが計上され、原案どおり可決した。

## 賛成討論

一般会計2号補正予算

土地購入は最重要課題

野村生八

織物振興対策事業をはじめ、大事な事業を執行するための予算であり賛成をする。

とりわけ、加悦最終処分場という住民のくらしの基盤として重要な土地を、賃貸を止めて、購入することは最重要課題である。その購入予算を削除する修正案が出された。土地の単価が高いとしていた提案理由が、質疑で根拠がないことを示せば、単価は仕方がないと変更された。

税務署が税の免除をしないことは、公共用地として重要な用地ではないとの論理も賛同できない。

交渉結果と予算化

有吉 正

修正案の提案理由は、農地の価格は下がっている。税金分の上乗せ・高圧線下補償の補償料などが、認められないの点だが、この案件については、提案の根拠になっていない。

町としては、最終処分場の役目が終わっても、水質・ガスなど管理をしていかねばならない。今町有地にすることが、地域の安心にも繋がる。

行政は、情報開示も必要だが、守秘義務もある。ぎりぎりの交渉の結果の予算化と考えると、原案に賛成する。

## 賛成討論

一般会計2号補正予算の修正動議

再度の交渉を要望する

井田義之

加悦最終処分場の買い上げ予算が提案された。一部でも借地で最終処分場を使用されていたことに違和感がある。

今後の環境管理は重要であり、町有地とする方向は大きな前進であるが契約内容が納得できない10年間にわたる交渉と聞くが提案詳細に疑問点がある。

特に土地の所有者に支払われる線下補償金10年分が購入価格に加算されていることは認められない。再度の交渉を強く要望し、修正動議に賛成の立場を表明する。

## 下水道会計決算

下水道分担金・負担金の徴収事務処理の不手際による多額の不能欠損が発生したことから、3人の議員から質疑があり、与謝野町始まって以来の決算不認定となった。

## 府や協会から指導は

伊藤幸男

**問** 私は強権的な下水道法には時効がないと思ってきました。時効を知った昨年9月の後、調べたが、不納

欠損が全国でも十数年前に発生、多くの町でも時効を過ぎ欠損処理をしてきた。この点の府や下水道協会からの指導は。

## 介護保険会計決算

## 要支援者の介護

杉上忠義

**問** 市町村が介護内容を決める「地域支援事業」へ移行する国の改革案への対応は。  
**福祉課長** 問題点が多い。社協、ボランティアの協力が必要になる。  
※ 関連記事16ページ

水道課長 その類の連絡はまったくなかった。



介護施設

## 国民健康保険会計決算

## 不妊治療の拡充を

和田裕之

**問** 厚労省では、不妊治療補助制度の対象を42歳までに引下げ、回数を6回まで減らす予定だ。少子化対策を重視する国の主張とは異なり、拡充が

求められているなかでの削減だ。子供を望まれる多くの人に背を向けるものだ。国や府に強く指摘すべき。  
**保健課長** 機会あること

に要望をしていく。

## 接種注意喚起を

**問** 厚労省は6月、子宮頸がんワクチン接種の推奨を一時的に控えると発表。痛みやしびれなどの副反応の原因を調査し、正しい情報提供ができるまでの対策だ。定期接種の推奨控えは異例だ。自治体へは通達がいつているが、医療機関や住民へ

も十分説明が必要では。

**保健課長** 住民には広報などで知らせ、医療機関などへは通達を出した。

## 訪問リハはどうする

**問** 石川診療所の訪問リハビリを中止すると聞いて、なぜか。  
**保健課長** 予想以上に外来リハビリの利用者が多くなり、10月から訪問リハビリは休止する。



平成25年度  
一般会計第2・3・4号補正予算

### 染色を体験観光利用に

谷口忠弘

**問** 織物製品の完成品産地化と技術者の養成がセンターの設置目的だが、現状は浴衣のれんなど体験型が多い。多く観光体験に活かし



加悦染色センター

### やすらの里の水利解析

有吉 正

**問** やすらの里の南側の宅地に浸水被害があった。北側水路の東には農業用水路への堰板がある。京豆腐工場との間の水路も併せて水利解析することが必要。算所の浸水対策のような鎖で引つ張りあげ

### 常習浸水地帯 被害再び

井田義之

**問** 台風18号による、初の特別警報が発令された。  
**町長** 堂谷の樋門・野田川の浚渫など、安心なまちづくりに向け、府に要望し、庁舎内でも検討する。  
**建設課長** 210mm。約11時間。  
**農林課長** 結果を待ち、受益者の意向も聞き、必要なら設置する。



冠水した国道176号線(石川地区)

**議会から被災地へ見舞金**  
台風18号による豪雨の被災地へ議会から見舞金を贈りました。  
送付先 福知山市議会へ10万円・京都市議会・南丹市議会へ各5万円。

### 下水道分担金の不納欠損の責任をとり 議員3ヶ月10%の減額に

議会も、責任の一端を果たすため、議員発議で3か月10%削減をする条例を、賛成多数で可決した。

議員の報酬  
条例改正

### 町長・副町長の給与9ヶ月減額

議会初日9月2日に、下水道受益者分担金・負担金2668万円もの多額の不納欠損を生じさせた管理責任を明確にするため、本年7月から9月までの3か月間、町長10%、副町長5%の給与削減をする専決処分の承認を求める条例案件が出され、厳しい意見のなか、賛成少数で不承認となった。

改めて、同額の削減を6か月間行なう条例改正が提案され、賛成多数で可決された。あわせて今期一杯の9か月間減額するもの。なお、新年度予算提案時に財源確保の目的で1年間5%削減をしているので、9か月間は実質、町長が15%、副町長10%の削減となる。

### 専決処分の条例改正 不承認

### 対応と処分は別

家城 功

**問** なぜ専決なのか。もっと内容を分析する必要があるのではないか。  
**町長** 議会からも早期対応を求められている。  
**町長** 原因究明や対応策もできていると思う。

### 不公平感の払拭を

野村生八

**問** 野田川地域区長会からのアピールを重く受け止めている。減給処分だけで町民の不公平感払拭できない。今後どのように取り組むのか。  
**町長** 当面の取り組みは進めてきたが、職員のみでさらに取り組み、そ

### 反対討論

厳しい町民の声

多田正成

浪江郁雄

管理監督を求める  
今回の下水道分担金負担金の時効による不納欠損処理については、法制上の問題でどうすることもできないが、調査の結果、問題点を指摘する。行政管理者を含め徴収命令権者の法的認識の欠如、全体の管理運営責任者の甘さ、会計室は調定額に対し収納額、未済額の管理のみ、チェック機能の議会も含め、その責任は重い。(長、副、課)つまり行政管理職の組織機能が全く機能していないことが調査で感じられ、問題点を指摘して反対討論とする。





下水道不納欠損関連の審議では、延べ22人の議員が発言し、白熱の議論が交わされた。下水担当課が受益者に度々請求はしてきたが、時効の深い認識がなく、「督促」をだすなど法的な手続きをしてこなかったことが不納欠損となり、大問題になった。これらを受け、町長は、全面的な総括をし、今後の方針を明らかにした。議会も深い反省が求められる。

## 職員の処分が甘い

今田博文

適切な事務処理を怠った、担当課長の減給をなげしないのか。町長などの給与減額により退職金がいくら減るのか。

町長 日頃の勤務態度が良好。旧町からのことであり1人の責任ではない。総務課長 町長110万円。副町長26万円。

## 特別職の給与条例改正

### 反対討論

全容説明が先決

家城 功

本案件についての説明等を聞いていて、全容の解明どころか答弁にも疑問を感じるどころが多い。そのなかで、本提案は全く納得のいかないことである。事の内容も把握できない状況のなかで、我々議員のやるべきことは、処分を先に決めることではない。原因の徹底究明とそれに対する対応策をしっかりとやった上で、町民にすべてを明らかにして、それから処分について協議すべきであり、順番が全くバラバラである。よって本提案に対して反対するものである。

## 9月定例会 賛否一覽

### 賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対

(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

議員名 議案	議員名		野村生八	和田裕之	有吉正	杉上忠義	塩見晋	宮崎有平	伊藤幸男	浪江郁雄	家城功	山添藤真	小林庸夫	多田正成	井田義之	糸井満雄	勢旗毅	谷口忠弘	今田博文	赤松孝一	
	賛成	反対																			
(専決) 特別職の給与条例改正	3	14	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
同補正予算第2号に対する修正動議	11	5	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	—
25年度補正予算第2号	16	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	—
24年下水道特別会計決算	6	9	○	○	欠席	×	×	×	○	×	×	×	○	○	欠席	○	×	×	×	×	—
24年農業集落排水特別会計決算	14	1	○	○	欠席	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	—
特別職の給与条例改正	13	4	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員報酬の条例改正	10	7	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	—
道州制を拙速に導入しないよう求める意見書	16	1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

## 収賄事件再発防止 調査特別委員会 報告

加悦中学校改築工事に関連して、町職員が加重収賄罪で起訴された事件を受けて、平成24年9月定例会で当委員会が設置された。

述べ15回の委員会、11回の打ち合わせ会を開き、関係職員から事情聴取を行うとともに、行政への資料提供を求め事実確認を進めてきた。

また、事例研究のため京丹波町議会、福知山市議会を視察するとともに、収賄・贈賄の裁判傍聴を4回行った。

これらの概要を報告し、再発防止と信頼回復に向けての対策を提言し委員会報告とする。

### 事件の概要

加悦中学校の全面改修工事に伴い、平成23年7月、校舎の基本設計業務を行う業者を公募した際、教育委員会事務局施設係長が、特定業者に審査に有利な内部情報を漏らし、見返りに現金30万円を受け取り、逮捕、起訴されたもの。

### 事件発生の原因

- 公務員としての自覚・倫理観の欠如が直接の原因といえる。
- 教育施設の改修業務や業者への対応を実質、係長一人に担わせていた町教育委員会の管理体制と、チェック体制が十分機能していなかったことが挙げられる。
- 施設の耐震診断を請け負った業者が、設計業



福知山市議会を視察

務を随意契約で請け負うという、旧野田川町時代からの慣例があり公平性・透明性に欠けていた。

再発防止の取り組み  
① 職員倫理、法令遵守について  
研修実施や指導などで職員の法令順守の徹底にも原因があったのではないかと推測する。

② 職員と業者の癒着を監視できる組織のあり方について  
職員と業者との癒着は起り得るとの認識で、常日頃から職員と業者との関係、入札と結果の状況を監視する第三者委員を含めた組織が必要である。

信頼回復に向けて  
近年、自治体に対する税の使い方の関心が高まっており、従前にも増して厳しい監視と批判が寄せられている。行政には情報開示と説明責任があるが、一方個人情報など守秘義務も課せられている。職務権限を持つ理事者・職員は清潔性が強く求められる。各種事務事業の再点検を行い、再びこのような事件を繰り返さないよう、時宜にかなった検証と改善を重ねることを強く求める。

③ 人事管理について  
特定の業者との関係が深まらないように適切な人事異動や、業務の過負担が生まれないような技術職員配置、問題事例を直ちに改善できる職員間のコミュニケーション体制などの人事管理が必要である。合わせて職員の健康管理を含めた労務管理も求められる。

④ 議会の対応について  
議会としては議会基本条例を作り、議会の活性化や町民との協働に努めてきたが、改めて議会や議員の法令遵守、職員と行政の法令遵守の取り組みの確認が求められる。



# 議会活性化特別委員会 報告

平成22年10月に本委員会を設置し、3年間にわたり活動してきた。  
まず町民アンケートを実施し、改革の方向性に生かしてきた。また、先進地視察などを行い、研鑽を積みながら調査・検討を重ねてきた。

## 主な検討結果

- ①議員定数を18人から16人に減員
- ②議会懇談会の開催（小学校区単位11地区）
- ③議決事項の追加（総合計画基本計画）
- ④反問権の付与（町長等）
- ⑤政策形成過程の説明（論点・争点を明確にするため）
- ⑥議員間の自由討議の開催（政策提言能力の強化）
- ⑦議会基本条例の制定（情報公開・町民参加を基本とする開かれた議会確立のため）

## 「結び」

二元代表制の確立、町民から信頼される議会の構築、議会の活性化は永遠の課題である。全議員が一丸となって常に研鑽を積み、政策提言ができる議会をめざすことを決意し、委員会報告とする。



宮津市議会を視察

## 意見書

**道州制を拙速に導入しないよう  
求める意見書**

提出者 議会運営委員長 有吉 正

本年4月15日、全国町村議会議長会では「町村や国民に丁寧な説明や議論もいまま、道州制の導入が決定したかのごとき法案が提出されようとしていることは誠に遺憾である」との緊急声明を行った。町村は今日まで地域特性を生かした個性あるまちづくりを進めてきたが、住民自治が衰退することが明らかであることから「道州制は絶対に導入しないこと」とする要望を政府・国に要請してきた。  
与謝野町議会としても拙速に導入しないよう求める意見書を政府に提出するもの。  
賛成多数



# 13人の議員が 一般質問

ここが聞きたい!

「一般質問」は定例議会のみ行われるもので、行政全般にわたる議員主導による政策論議であるが、質問者も受ける執行機関も共に十分な準備が必要のため事前通告制となっている。  
「質疑」は提案された議案に対して疑問点を問いただすことです。

## Q 統廃合はどんな手法で決定か

### A 子ども子育て会議の答申・地域の意見聞いて

**問** 町政懇談会が開催され学校・保育所等の再編計画が示された。旧3町に認定こども園を開設する計画だが、財源と設置場所はどこか。

**町長** 3園で約30億円が必要と試算しており、有利な補助制度を探す予定だが、合併特例債の活用が最も現実的と考える。  
岩滝地域は幼稚園改築の方法がある。



井田 義之

**問** 加悦、野田川地域は白紙である。小学校も旧町単位で市場小と加悦小に統合。特に市場小については築後42年、老朽化が心配の声が多い。耐用年数等どう考えているのか。

**教育長** 鉄筋コンクリートの耐用年数は、税法上60年といわれており、適切な維持管理をすれば

70〜80年も可能と聞く。  
また平成23年度における学校施設の平均年数は42年となっており、老朽化対策は喫緊の課題であるが、市場小は耐震補強工事とあわせて老朽化対策工事も実施し、適切な維持管理ができています。

**問** 加悦・江陽の統合時の活用校舎はどちらか。

**教育長** 改革中の加悦校舎は規模的に困難であり加悦小の老朽化のとき、小学校の校舎とする方針も視野に入れている。



市場小学校



## Q 責任の取り方はこれでいいのか

**A 説明責任を果たし 徴収に最大の努力を傾注**

**与謝野町長が減給3カ月**  
 与謝野町が下水道負担金の滞納について、時効延長措置を行わず、2600万円が時効になった問題で、町は5日、太田貴美町長の給料を10分の1の減額(3カ月)とし、下水道課を戒告にするなどの処分を発表した。

負担金は、町の公共下水道・農業集排水がある区域の土地所有者が面積に応じて納める。町は滞納の時効5年間を延長するために必要な督促の送付を行っていなかった。町は今月30日、7月6日付) 報道された新聞記事

**問** 下水道受益者負担金の不納欠損処分について原因の主たるものが職員の時効に関する認識がなかったこと、ということだが担当職員のみならず、全職員の認識不足と言える。町行政を担っている立場から全職員でのペナルティがあつてしかるべきだ。勿論、議員も自分の責任あると考える。

**町長** 多くの町民の声を真摯に受け止める。



小林庸夫

**問** 民間が法令違反したら即、ペナルティがある。

認識がなかったことの言い訳は通らない。町長・副町長のみならず行政関係者で幾分でも負担することで、職員教育にもつながる最高の機会。町民に対する応えと思う。

**町長** 補填することも方法だがそれ以上に、各課職員意識の喚起を促すことが大事だ。

**代表監査委員** 監査委員の業務の中で、毎月例

月出納検査で、各部門の公金収入未済額の徴収を強く指摘をし、徴収率向上に努めていただいている。下水道負担金の時効の具体的指摘をしたことはなかった。監査委員の責任は重いと自覚している。町民の皆様深くお詫び申し上げます。

## Q 消滅時効完成の責任と処分は

**A 議会の承認が得られないので再度検討する**



議場風景

**問** 下水道負担金・分担金等の時効が完成し、回収不能となった。担当課長は時効を知らなかったと言っているが、行政のプロとして、重大な過失である。不納欠損額2668万円の78%を野田川地域が占めている。旧野田川町長職もしている町長には、重大な責任があり、今回の処分は職員も含めて、大変甘く、納得のいく処分ではない。

原因は職員に消滅時効に関する認識がなく、時効の進行を中断させる有効な手立てを行わなかったことによるものである。その責任の取り方は、同様の事象があつた他自治体の処分内容も参考に、判断した。



宮崎有平

**町長** 原因は職員に消滅時効に関する認識がなく、時効の進行を中断させる有効な手立てを行わなかったことによるものである。その責任の取り方は、同様の事象があつた他自治体の処分内容も参考に、判断した。

台風やゲリラ豪雨の影響で、各地域で年に数回以上の水害が発生している。具体的な対策は取れないのか。

**町長** 集中豪雨により浸水する箇所について、常習浸水地域の解消を指標として総合計画にあげ、鋭意工事を進めており、氾濫の減少などの成果を上げている。

## Q 入湯税を課すべきでは

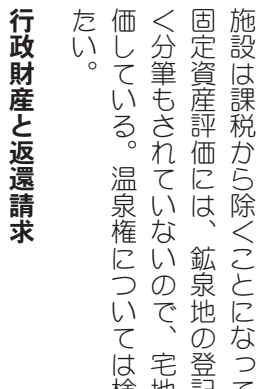
**A 共同利用施設は課税から除かれる**



クラハウスの温泉スタンド

**問** 地方税法では、温泉での入浴の場合、一日150円を基準として目的税である入湯税を課することにしている。また岩滝地内には5本の源泉が掘られているが、鉱泉地として固定資産評価がされていない。旧岩滝町で掘削された温泉は貴重な町の財産であり、財産台帳に載せる必要がある。市町村が住民に使用させることを目的に設置した健康

施設は課税から除くことになっている。固定資産評価には、鉱泉地の登記はななく分筆もされていないので、宅地で評価している。温泉権については検討したい。



勢篠 毅

行政財産と返還請求

**問** 今年になって旧加悦町の第三セクター会社に対して事務所の返還請求がされたと聞く。この会社は、13年間で780万円の事務所使用料、豆つ子肥料の生産を委託されていた3年間で2040万円を支払っている。以前には旧町に1150万円を寄付した実績もある。7割の大株主である町が明渡しを迫るのは余りにも恣意的ではないか。

**副町長** この施設は、肥料の生産に從事する職員の休憩場所にするため、設置目的に照らして他所に移転をお願いした。

## Q 管理体制強化の取り組みを問う

**A 意思疎通をはかり、不正行為の防止に努める**



岩滝本庁舎

**問** 当町の度重なる不祥事は、長副、課長、係長、つまり行政管理職の役目、チェック機能、危機管理の弱体の原因ではないか。議会も責任の一端はあるが、このままでは今後また起こりうる。

当然不祥事や問題を起こし、職員、上司に責任がある。今後はデータの共有化を図り、組織上げて取り組み、各課長・係長等管理職のチェック機能を強化する。



多田正成

**問** 各課長等管理職のチェックは当然のこと、より上司(長、副)の指導、チェック機能、危機管理指導が必要だ。

**町長** 職員との意思疎通を深め、今後不正行為の防止に徹底して努める。

**問** 国の観光地域づくり支援事業と共に府では「海の京都」構想を打ち出し北部の活性化を図る。当町もその為のマスタープランをどう考えるか。

**町長** 戦略拠点を、ちりめん街道と決め、民間の方を中心に組織、実践者会議を立ち上げプランを進めてもらいたい。

**町長** 観光振興ビジョンの様に冊子づくりで終わらないことが大切。地域のみなさんの協力もい



**Q** 小学校再配置の進め方

**A** 基本方針より早い統合もできる



市場小学校

**問** 各小学校区で開催された町政懇談会で学校再配置の意見も多くあった。「子ども子育て会議」での平成34年度一斉統合の基本方針の審議は26年度となっているが。

**教育長** 一斉統合には固執せず地元の保護者や地域の意見を踏まえながら慎重に進めていきたい。



塩見 晋

**問** 将来の学校の具体的な姿を早く示すことが、先行して統合する際の安心感につながるのでは。基本方針の一斉統合は対等の統合となるのか。

**教育長** 旧町に1校の小学校にする基本計画は対等の統合。早期の場合、平成34年度までは予定校への吸収統合となる。

**問** 今の小学校区は、明治時代より続いた長い歴史があり、地域の心情も深いものがある。

**教育長** 設立時から、おらが村の学校であった。

**空き地・空家の管理を**

**問** 今後、空家や廃屋、空き地の増加、田畑の荒廃などが増えて、生活環境が悪化していくと予想される。条例を制定して管理者の意識を喚起する事も必要では。

**町長** 多くの課題があるが、府の自治振興課などと、適正管理の具体的な対策の検討を進めたい。

**Q** 高齢化の下、町営バスの予約方式を

**A** 今は現状の体制で。将来は予約方式も検討



導入された200円バス

**問** 合併後、町営バスが運行し高齢者の本町では、基本的な人権としての交通権を踏まえた取組みは欠かせない。①免許返納の高齢者から「近くにバス停を」「京阪神へ行くのに休日運行を」などの声を聞く②今後も進む高齢化の下、予約方式も検討を③バスなど地域公共交通は買物や集いなど、日常生活に欠かせない町づくりの土台では。



伊藤 幸男

**町長** ①住民の声も聞き反映させているが、200円バス導入もあり、当面は現状の体制でいきたい。②予約方式は将来的には検討がいく。

**問** 全国では異常な集中豪雨災害が多発している。9年前、加悦町では23号台風で大被害を受けた。努力で被害は減らすことが可能と言われる。

①野田川浚渫が必要では②加悦庁舎前周辺は長年の排水整備が課題だった。抜本的改修が必要では。

**町長** ①府では断面1割以上が阻害された時、浚渫する。府民公募型事業でも実施する。②今までも度々浸水被害があり何度が改修してきた。再検討したい。

**Q** 変えていこうという姿勢が大切

**A** 改善に向けて引き続き検討を進める



岩屋川改修工事

**問** 入札制度の問題について議会から試験的な取り組みも含め改善を指摘し報告したが、その後どういった協議がなされ、どんな改善があったのか。

**副町長** 入札に参加する機会の偏りの改善等に取り組んでいる。

**問** 最低制限価格の見直しや事前公表については、どんな協議がされたか、どんな意見が出されたのか。



家城 功

**副町長** その分野に関しては、現在のやり方以外に考えていない。

**問** 変えていこうという意識の中で協議しない限り何も変わらない。議会は変える必要があると結果を出したはず。

**副町長** 改善に向けて引き続き協議を進めていく。

**KYTと情報発信**

**問** 現在各家庭にあるFM告知端末機はメンテナンスの必要があるのか。また各家庭で視聴できる確認はできているのか。

**町長** メンテナンスの必要はない。故障等不具合があれば交換等の対応はしている。各家庭の現況チェックはしていないが、各自で非常時に備え、いつでも聞ける状態で待機していただきたい。

**問** PRと規律のために、KYT職員ユニホームを。検討してみたい。

**Q** 与謝野町の成長戦略を問う

**A** 総合計画が成長戦略である



全国女性町長サミット

**問** 今年4月に策定された第2次行政改革大綱には、平成26年度以降の形式的収支の赤字が見込まれること等から、当町の財政状況は危機的なものになることが謳われている。そうした状況が想定される今、歳出削減や財政規律の堅持をめざすと同時に、当町が成長していくためには何が必要かという観点から「成長戦略」を描く必



山添藤 真

要があると考えている。当町の成長戦略は。

**町長** 総合計画の後期基本計画そのものが当町のまちづくりの道しるべであり、成長戦略であると認識している。

**問** 9月上旬に開催された総合計画審議会で、平成24年度の総合計

**問** 画の達成度を評価するベンチマークが示された。当町の成長の鍵となる第2章「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」においては、目標値に届いていない項目が数多く見受けられる。どのように評価されているのか。

**町長** 評価されたところと考えると、いい。

**問** 掲げられた目標は不断の努力と創意工夫で実現されなければならぬ。

**町長** 実現に向けて努力したい。



## Q 子ども安心カードの導入を

**A** 不慮の事故に対して導入は必要だ



子どもに安心を

**問** 子ども安心カードとは、児童・生徒らが病気やけが、アレルギー症状で救急搬送される際、学校と消防署などが迅速に対応できるように、保護者の緊急連絡先や子どもの病歴、服用薬、各種アレルギーの有無、かかりつけ医療機関の連絡先などが記入されている。子どもの命を守るための施策として導入を。

**教育長** アレルギーについては、給食の除去食や緊急時マ



浪江郁雄

アレルギー事故が多い新学期など教員が変わっても対応できる。支援ファイルでも可能か。

**教育長** 支援ファイルをベースにすれば対応が可能だが、アレルギーなどをすべてを把握しているわけではない。事故はいつどんなことが起こるか分からないので、安心カードのようなものが必要と考えている。

**問** 安心カードは学校に保管し、緊急時に救急隊に渡し救急対応後に学校に返却される。

## Q 認定こども園なぜ旧町で1つなのか

**A** 子ども子育て会議でこれから議論する



三河内幼稚園

**問** 子ども子育て支援3法いわゆる「新システム」が昨年8月に成立した。

新制度は4つの問題があると考えられる。①「公的責任後退」②「保育基準の違いが広がる」③「保育時間の制限」④「保育料負担増」が指摘されている。新制度開始まであと1年余りで、本当に子供達のためになる制度になるのか危惧する。

15年の本格スタートに向けて、全国



和田裕之

市町村は動き出した。当町も本年7月に「子ども・子育て会議」を設置、幼稚園・保育所再編について諮問をされ、本年中に答申の予定だ。教育現場の声や保護者の意見も反映し、国には問題点を指摘すべし。

認定こども園にし、幼保一体化にする

## Q 全国で高すぎる国保税に悲鳴

**A** 国庫負担の増額も必要



北部医療センター（与謝の海病院）

**問** 国の弱肉強食の構造改革による雇用破壊や、大企業の利益のために農林水産業者や自営業者の経営難と廃業が加速している。国保加入者の貧困化・低所得化が進み、全国的に国保料が大幅に上がっている。国は、国庫負担金を増やすべきところを引き下

げた。国保会計の広域化で保険料の一層の値上げを進めようとしている。この国保の府への一元化を、全国に



野村生八

先駆けて進めようとしているのが、山田京都府知事だ。保険料の値上げを抑え、住民の暮らしを守るために、一般会計からの繰り入れの努力を、与謝野町をはじめ多くの自治体が行っている。国保の一元化でこれもできなくなり、国保税はさらに上がる。

広域化で国保の困難は解決できない。国庫負担の増額こそ求めるべきだ。  
**町長** 国保の都道府県への一元化は避けられない。ただ、単に一元化するだけでは国保制度の抱える問題は解決できない。国庫負担の増額も必要であると思う。財政負担を単に国保加入者と地方自治体に押し付ける形にならないよう求めたい。

## Q 少子高齢化社会と集約型まちづくり

**A** 今後の方向性である。取り組む課題は多い



集約型のまちづくり

**問** 人口減少・少子高齢化や地方自治体の厳しい財政事情を踏まえ、医療・介護・学校などの公共施設、住宅、商業施設を一定の範囲に集める町づくりを国主導で全国に広げると国交省は公表した。道路や上下水道、ゴミ収集や除雪といった行政コストが割高になったことから、公共交通を軸に「コンパクトなまちづくり」に成功した市も

ある。本町も「集約型まちづくり」に誘導していく必要があるが、まず、①役場庁舎の総合庁舎化と機構改革②幼・保を一体化した「こども園」の設置③住民と行政による「協働のまちづくり」が重要であるが。



杉上忠義

行政機能は旧町のままを継続している。  
**町長** ① 役場の機構改革は喫緊の課題である。総合庁舎化の時期や方法を今後も継続して議論を深め、住民の理解を得ながら集約型まちづくりに向けた課題解決の一つとして取り組んでいかなければならないと考えている。  
② 「子ども子育て会議」に諮問している。  
③ 「町独自」「町自治振興補助金」制度を設けて推進している。





# まちの宝

## 子どもページ

### 市場学童クラブ

町内では加悦小学校区の「ちびっ子元気クラブ」に続き、野田川地域では最多の28名が登録している「市場学童クラブ」。

市場小学校から徒歩で3分余りという距離で、宮津警察四辻交番のそばにあり、平成17年度建築のおしゃれな建物です。

玄関を入ると、児童ごとのかわいい折り紙による連絡カードポストや靴下入れが並び、一人ずつのかばん棚がもうすぐ帰ってくるみんなを待っています。

室内は、全員がそろろうと手狭になりますが、雨天の時などはボール遊びや読書また“ごっこ遊び”など、学年にとらわれずスペースを分け合って楽しく元気にふれあっています。

天気のよい日は外で鬼ごっこや縄跳びをしたり、いまは秋の福祉作品展に出品するために、みんなが大好きなポケットモンスターをあしらったちぎり絵づくりに挑戦しています。



指導員は、通常3人体制で保育にあたっていますが、「みんなほんとうに仲良く、上級生がうまくリードしてくれて安心して見ていられます」とのこと。

今日も、午後3時半頃になると「ただいま〜」の大合唱。手を洗って宿題の机に向かう児童、おやつをほおぼる児童、そしてわれ先にとちぎり絵を囲む児童など、午後6時のお迎えまで市場学童クラブで楽しくすごしています。

### がんばっています

## 田舎の我が家に帰ってきたような「癒しの宿」をめざして

かや山の家運営委員会

委員長 青木敏明



かや山の家は、大江山連峰の麓に位置し、古式ゆたかな民家の趣を取り入れたユニークな建物で、手頃な費用でどなたでも気軽に利用いただける宿泊施設です。

近年、スマートフォン  
の急激な普及により、宿泊施設を取り巻く環境は大きく変化しています。そんな中、当館も大手旅行宿泊予約サイトと契約し、大江山の自然やちりめん街道など、町の豊富な観光資源を活かしたプランを作り、与謝野町のPRと集客に力を入れています。その効果により府外からも多くの宿泊客があり「田舎に里帰りしたかのようなアットホームな雰囲気に癒されました。」とクチコミ欄に投

稿もいただいております。昨年、温江そば愛好会が結成され、休耕田を利用し栽培された地元産のそば粉を使った手打ちそばが評判になり、そのそばを一品に入れた懐石料理も始めました。

これから、年末年始に向け宴会の多い季節となります。各種鍋料理も準備しております。中でも、地元で獲れた猪肉を秘伝の味噌仕立てで召し上がっていただく牡丹鍋は

好評をいただいております。運営委員スタッフ一同、田舎の心のこもったおもてなしで、町民の皆様のご利用をお待ちしております。



かや山の家